



2011年5月1日発行
第12号

誘致企業 (2011年1月～3月)

企業名	本社所在地	立地場所	業種等
タキロンポリマー(株)	柳川市	八女市	合成樹脂製品の製造
ローズサービス(株)	福岡市	大刀洗町	ミネラルウォーターの製造
日清製粉(株)	東京都	福岡市	製粉
日本パワーグラファイト(株)	東京都	北九州市	リチウムイオン二次電池用負極材の製造

有効求人倍率

		全国	福岡県	地域別			
				福岡地域	北九州地域	筑豊地域	筑後地域
2008年度		0.77	0.58	0.59	0.63	0.51	0.52
2009年度		0.45	0.41	0.43	0.42	0.35	0.36
2010年度	12月	0.58	0.53	0.53	0.66	0.55	0.53
	1月	0.61	0.55	0.59	0.70	0.54	0.55
	2月	0.62	0.55	0.61	0.67	0.53	0.53

(出典：福岡労働局「平成23年3月29日発行 雇用失業情勢(平成23年2月分)について」)
全国及び福岡県の数値は季節調整値(地域別は原数値)

東日本大震災 ～福岡県の被災地に向けた取組～

本県は、東日本大震災により被害を受けた地域への救援を総合的、迅速に行うため、知事を本部長とする救援本部を設置し、救援物資の輸送や県職員の派遣など被災地への支援や避難者等への支援に取り組んでいます。

また、わが国の生産活動の復興へ向けて本県が積極的な役割を果たすため、新たに「福岡県『日本復興』企業応援ワンストップセンター」を設置し、工業団地等のインフラ情報に加え、住宅、学校、病院等の情報をワンストップで提供し、県内における新生産活動を積極的に支援してまいります。

主な取組	内容
県職員の派遣 (4月6日現在)	被災自治体の行政機能支援(一般行政職30名) 被災地における健康相談・心のケア(保健士、精神科医等46名) 避難所における被災時の情報収集及び相談(児童福祉士等4名) 下水道(管路)被災状況調査(土木職等12名)
救援物資の輸送 (4月13日現在)	米29トン、備蓄用米・インスタント食品等約17万食、水約1万リットル、お茶・ジュース類等約10万本 等
県営住宅への被災者受け入れ (4月12日現在)	26戸103名入居
企業向け相談窓口を設置	「福岡県『日本復興』企業応援ワンストップセンター」を設置。 工業団地等のインフラ情報に加え、住宅、学校、病院等の情報をワンストップで提供。
就職支援窓口の設置	被災者を対象とした就職相談窓口を新たに設置。 雇用保険制度の紹介、ハローワークや年代別の就職支援センターなどの専用相談窓口の紹介などを行う。
見舞金の贈呈	被災された各県に対し、各県東京事務所を通して1030万円を贈呈。
義援金箱の設置	県の機関14ヶ所等に義援金箱を設置。 募金開始から一ヶ月間で寄せられた義援金は2億2,500万円。
チャリティ物産展の開催	4月16日、県営天神中央公園において「東北地方太平洋沖地震災害復興チャリティ物産展」を開催。収益はすべて義援金に充てる。

福岡の経済トピックス



都市高環状線がほぼ完成

福岡高速5号線(野芥～福重間4.1km)と西九州自動車道(福重JCT)が2月26日に開通しました。今回の開通により、福岡市の都市部を巡る都市高環状線がほぼ完成します。これまで1号線(天神)経由では福重から太宰府ICまで36分を要していましたが、5号線経由では17分と約20分、時間短縮されることとなります。さらに、ピーク時の混雑緩和、緊急時のネットワークの信頼性の向上が図られます。なお、1号線と5号線を結ぶ渡り線は平成24年に開通予定です。

福重～太宰府ICの時間短縮効果、千鳥橋JCT付近の渋滞緩和が期待される

「福岡県Ruby・コンテンツ産業振興センター」開所



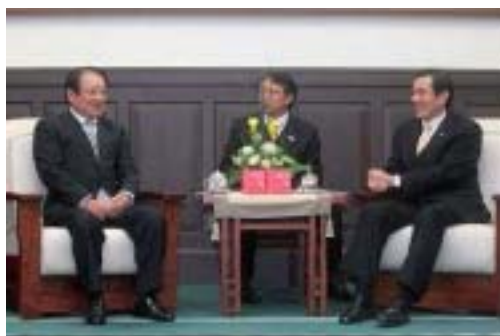
12月20日、本県は福岡東総合庁舎内(福岡市博多区)に福岡県Ruby・コンテンツ産業振興センター(館長:まつもと ゆきひろ氏(Ruby開発者))を開所しました。

本県は、非常に生産性の高い日本発のプログラミング言語「Ruby」を活用したソフトウェア産業やゲーム・アニメなどのコンテンツ産業の振興を図っています。

センターには企業向けのレンタルオフィス(全12室は入居企業決定済)、録音室、研修施設があり全室ネットワークが利用できる無線環境を備えています。

今後は、このセンターを核として、地元企業の研究開発、人材育成、ビジネス機会の拡大などの総合的な支援を行ってまいります。

知事は「Ruby・コンテンツビジネスの世界の拠点となることを目指す」と挨拶。館長に就任したまつもと ゆきひろ氏もテープカットに参加(写真右から3人目)



馬英九総統と意見交換を行う麻生知事

麻生知事台湾へ ～福岡・台湾経済交流ミッション派遣～

1月10日～12日、本県は、麻生知事を団長に、県議会、商工会議所、JA全農ふくれん及び九州観光推進機構等総勢24名で構成する経済交流ミッション団を台湾へ派遣しました。トップリーダー同士の交流によって更なる経済交流を促進することが目的です。

本ミッションでは、県商工部と台湾の中小企業局(中小企業処)が中小企業経営者同士の交流事業連携で合意しました。これを中心テーマに麻生知事が施顔祥(せがんしょう)経済部長(大臣)と意見交換を行い、さらには、馬英九(ばえいきゅう)総統を表敬し、両地域の一層の経済交流の推進について会談しました。また台湾最大の経済団体である三三会(さんさんかい)の江丙坤(こうへいこん)最高顧問、郝龍斌(かくりゅうひん)台北市長、更には福岡県産業・科学技術振興財団と半導体分野での研究交流をすすめている工業技術研究院を訪問し、意見交換しました。

今後、両地域間の強固な枠組みをベースとした経済交流の飛躍的な発展につなげてまいります。



北九州水素タウン内の集合住宅に設置された純水素型燃料電池

福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)展開中

1月13日、自動車メーカー及び水素供給事業者13社は、平成27年に東京、愛知、大阪、福岡の4大都市圏を中心とする国内市場に水素を燃料とする燃料電池自動車を本格導入することを表明しました。

今後、本県は、燃料電池自動車普及と水素供給インフラの整備促進に向けて「水素ステーション整備計画」、「普及促進策」、「普及目標」を骨子とした「ふくおか燃料電池自動車導入計画」を策定・実施します。

また1月15日、北九州市内で「北九州水素タウン運用開始式」が行われました。「北九州水素タウン」は、工場で発生する副生水素をパイプラインで市街地に供給するもので、一般家庭・商業施設・公共施設といったコミュニティ規模での実証実験は世界初の取組です。

今後も、環境にやさしい水素社会づくりに向けた取り組みを行ってまいります。

米国のエンジェル投資家が、FVMを拠点にアジア投資を本格化

1月19、20日、本県は、福岡市内で国内企業のアジア進出及びアジア企業の日本進出を支援する「フクオカベンチャーマーケット(FVM)第1回アジアビッグマーケット」と、コンテンツ制作企業やWeb技術開発企業を一堂に集めた見本市「福岡アジアコンテンツマーケット2011」とを同時開催しました。住宅、医療、環境、ゲームなど様々な分野、業界から226企業・団体(アジアからは韓国、中国等50企業・団体)が参加し、延べ4,549人が来場しました。

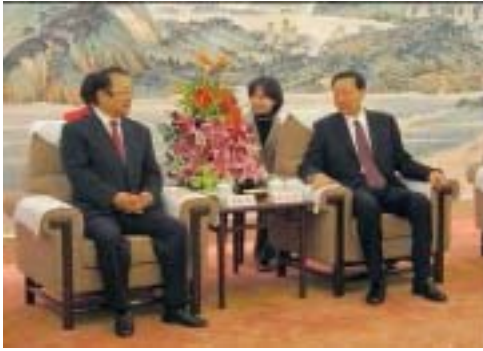
今回のFVMには、米国のエンジェル投資家であるヴィクター・トン氏も参加、氏は、総額43億円の新ファンドを立ち上げた投資家グループ「Webplus Ventures」を率いており、FVM参加企業にも投資を計画していることを発表しました。常に有望ビジネスの目利きを行っているエンジェル投資家がFVMに注目し、地域の中小ベンチャー企業に直接投資を行うことは画期的なことで、日本のベンチャー企業やアジア企業をFVMに引き寄せる呼び水となります。

FVMはこれまで135回開催し、延べ1,848社がビジネスプランの発表を行いました。2割が商談成約まで至り、22社が株式公開等を果たすなど大きな成果を上げています。

本県は、これからもベンチャー企業の育成を積極的に行い、アジア・世界に飛躍する企業を創出していきます。



FVMを拠点とした投資計画を発表したヴィクター・トン氏



羅志軍共産党江蘇省委員会書記と会談する麻生知事

麻生知事が中国・江蘇省トップと会談

1月28、29日、麻生知事は「江蘇－福岡友好桜花園」開園15周年記念式典出席のため中国・江蘇省を訪問しました。

「江蘇－福岡友好桜花園」は、平成7年9月、県民からの寄付による桜の苗木3千本を江蘇省南京市の中山陵公園内に植樹して建設され、江蘇省における友好のシンボルとして親しまれています。記念事業では、日中の高校生等による囲碁、書道等の交流も行われ、友好ムード一色に包まれました。

また、知事は滞在中、羅志軍(らしぐん) 共産党江蘇省委員会書記(前省長)との会談の中で、「環境協力協定」の早期締結、「中小企業経営交流プログラム」の実施、「水素先端世界フォーラム」への参加を提案しました。これに対し、羅志軍書記は、「今後、省長と共に進めていきたい」と、本県との交流連携に前向きな発言をしました。

今後も友好提携先である江蘇省との信頼関係を一層深めてまいります。

九州新幹線鹿児島ルート全線開通

3月12日、着工よりおよそ20年の時をかけ、待望の九州新幹線鹿児島ルートが全線開通しました。博多駅から鹿児島中央駅までのおよそ257kmを最速で1時間19分で結びます。福岡、佐賀、熊本、鹿児島の4県に12の駅が位置し、本県内では博多、久留米、筑後船小屋、新大牟田の4駅に停車します。

3月3日、新博多駅ビル「JR博多シティ」が先行開業。「博多阪急」「東急ハンズ」などで構成されており、初日は約22万人、初の週末となった5日には約32万人が来場し、駅ビル前には長蛇の列ができました。

今後は、時間短縮効果による人の往来はもちろん、文化や観光の面でますます活発な交流が期待されます。



3日に先行開業した新博多駅ビル「JR博多シティ」には初日22万人が来場



初めての乗客を乗せて鹿児島へ出発する「つばめ」

「高齢者にやさしい自動車開発シンポジウム」開催

本県の提唱により設立された全国35道府県からなる知事連合は、高齢者が自立し、いきいきと生活できる社会の実現に向け「高齢者にやさしい自動車」の開発を推進しています。

2月1日、知事連合は都内で標記シンポジウムを開催し、約400人が参加しました。

シンポジウムは麻生知事の挨拶で始まり、高齢者にやさしい自動車のコンセプトの発表やデザインコンテストの表彰式、また、専門家、自動車メーカー、高齢者ユーザー等によるパネルディスカッションが行われました。

シンポジウムでは、コンセプトとして、高齢者のための支援機能や2人乗り小型車の新しい車両が提案されました。今後は、自動車メーカーに開発を要請するとともに、国に対し、2人乗り小型車に対応する新しい車両規格の創設を求めていくこととしています。

3月24日には福岡でもシンポジウムを開催し、広く県民にコンセプトを紹介しました。



デザインコンテストで大賞に表彰された花岡大輔さんの作品



「鞍手IC」開通

2月19日、九州自動車道「鞍手インターチェンジ(IC)」が開通しました。鞍手IC周辺には自動車関連産業や半導体関連産業が数多く立地しており、開通により、これら工業団地から九州自動車道へのアクセスが大幅に向上し、物流の効率化による進出企業の競争力向上や、さらなる設備投資が期待されます。

また、分譲中の「磯光工業団地」(宮若市)「小竹工業団地」(小竹町)等への企業立地も見込まれ、地域経済の浮揚や雇用の創出も期待されます。

その他の話題

- ・12月27日、大日本印刷(株)(本社:東京)は、北九州市戸畑区にリチウムイオン電池の外装材であるソフトパックと太陽電池用バックシート・封止材を生産する工場を新設することを発表。新工場は平成23年4月の稼働予定で、投資額は約60億円、150名の雇用を予定。
- ・12月27日、(株)スターフライヤーは北九州と釜山を結ぶ国際定期便の開設を発表。1日2往復で平成24年7月の就航を予定。
また、平成23年度には福岡ー羽田便の開設も予定。
- ・1月18日、北九州空港にオーストラリアからは初となるジャンボジェット貨物チャーター便(乳牛約350頭、約100t)が就航。
戻り便は、韓国の仁川国際空港へ一般貨物(日本通運)約7tを輸出。
- ・1月19日、ミネラルウォーター製造の「ローズサービス株式会社」(本社:福岡市)が太刀洗町への進出を決定。投資総額は4億円で15名の雇用を予定。
- ・2月2、3日、本県は九州大学等と「水素先端世界フォーラム2011」を開催。日米欧企業の水素戦略や世界的な研究開発拠点「水素材料先端科学研究センター」(福岡市)の研究結果が発表される情報交流の場。世界16カ国から約420名が参加。
- ・2月28日、日本コークス工業(株)と住友商事(株)の合併会社、日本パワーグラファイト株式会社(本社:東京都)が、リチウムイオン二次電池用負極材(電気自動車用等)の生産能力増強のため北九州市若松区の響灘臨海工業団地に新工場の建設を発表。投資額は約10億円。

お問い合わせ先

商工部企業立地課(発行元)

〒812-8577福岡県福岡市博多区東公園7-7

TEL.092-643-3441 FAX.092-643-3443 E-mail : kigyoo@pref.fukuoka.lg.jp

東京企業誘致センター

〒102-0083東京都千代田区麹町1-12ふくおか会館

TEL.03-5215-7161 FAX.03-3263-7474 E-mail: toukyou-o@pref.fukuoka.lg.jp

大阪事務所

〒530-0001 大阪府大阪市梅田1-3-1-900大阪駅前第一ビル9階

TEL.06-6341-3627 FAX.06-6341-3622 E-mail:oosaka-o@pref.fukuoka.lg.jp

名古屋事務所

〒460-0008 愛知県名古屋市栄4-1-1中日ビル7階

TEL.052-262-6938 FAX.052-262-6945 E-mail:nagoya40f@pluto.plala.or.jp

工場等の事業所用地、優遇制度は・・・

「福岡県企業立地のご案内」ホームページ

URL : <http://www.kigyorichi.pref.fukuoka.lg.jp>